

幸野レター



2015.11月 第24号

◆増える癌、減る癌

以前の日本で死亡原因として多かった癌は胃癌、肝臓癌などでした。現在は胃がん健診での早期発見や原因となるピロリ菌の除菌で胃癌での死亡率は減少傾向です。肝臓癌は原因のC型肝炎の治療の進歩でこれも減少傾向です。

子宮癌も原因のウイルスが判明し減少が期待できます。逆に増加傾向なのが大腸癌、肺癌、乳癌、前立腺癌などです。いずれも原因が確定できておらず食事の欧米化と同時に増加したと言われるものの有効な予防法は確立されていません。

せめて食生活の改善と定期的な健診は行いたいところです。先進国の中では日本の健診受診率はかなり低い方とされています。

◆区の健診で生活習慣病を予防しましょう

特定・長寿健康診査は世田谷区が実施しています。生活習慣病（高血糖・高血圧・脂質異常）を予防するために、その大きな要因である内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）を予防、早期に改善するための制度です。その他にも肺がん検診（レントゲン・痰の検査）、大腸がん検診（便の検査）も行なうことができます。

すべて利用しやすい負担金になっていますので、ぜひ特定健診を受けましょう。

発行 幸野メディカルクリニック
Tel03-3483-1808（代表）
Tel03-3483-8976（ドック・健診）